

令和5年度 事業報告

社会福祉法人馬場福社会

令和5年度事業報告

社会福祉法人 馬場福祉会

1 法人本部、会務の運営

【指導・監査】

令和5年8月 金沢市による本部及びこども園への指導監査

【監査の実施】

令和5年6月 監事による理事長職務執行状況及び会計監査実施

【法人登記】

令和5年6月 役員変更登記及び資産総額の変更登記終了

【理事会の開催】

以下のとおり開催し決議又は承認・了承した。

(1) 令和5年6月8日

- 第1号議案 令和4年度事業報告（案）について
- 第2号議案 令和4年度計算書類の承認について
- 第3号議案 令和4年度監事監査報告について
- 第4号議案 定時評議員会の開催について
- 第5号議案 理事長職務執行状況報告について
- 第6号議案 役員候補者の選定について
- 第7号議案 こども園就業規則の改正について
- 第8号議案 こども園給与規程の改正について
- 第9号議案 その他

(2) 令和5年6月23日

- 第1号議案 理事長の選定について
- 第2号議案 評議員選任・解任委員の選任について
- 第3号議案 馬場福祉会相談役に関する規程（内規）の改正について

(3) 令和5年8月8日（定款第28条第2項：みなし決議）

- 第1号議案 介護拠点の就業規則の改正について
- 第2号議案 介護拠点及びひがしやまこども園のハラスメント防止規程の制定について

(4) 令和5年12月7日

- 第1号議案 金沢市の指導・監査の結果報告について
- 第2号議案 馬場福祉会経理規程の改正について
- 第3号議案 馬場福祉会文書保存規程の改正について
- 第4号議案 ひがしやまこども園運営規程の改正について
- 第5号議案 ひがしやまこども園重要事項説明書の改正について
- 第6号議案 理事長職務執行状況報告について
- 第7号議案 ひがしやまこども園・後任園長の処遇について
- 第8号議案 その他

(5) 令和6年1月14日

- 第1号議案 評議員清水満氏の死去について
- 第2号議案 後任の評議員の候補者選定及び評議員選任・解任委員会の開催について

第3号議案 馬場福祉会合同新年会の開催の有無について

第4号議案 河合理事宅災害見舞金の支給について

(6) 令和6年3月28日

第1号議案 令和5年度補正予算(こども園拠点)について

第2号議案 令和5年度予算執行状況について

第3号議案 令和5年度事業報告(案)について

第4号議案 令和6年度事業計画(案)について

第5号議案 令和6年度予算(案)について

第6号議案 その他

【評議員会の開催】

以下のとおり開催し決議又は承認・了承した。

(1) 令和5年6月23日

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度計算書類の承認について

第3号議案 令和4年度財産目録の承認について

第4号議案 監事の監査報告について

第5号議案 理事及び監事の選任について

第6号議案 相談役の選任について

第7号議案 馬場福祉会相談役に関する規程(内規)の改正について

第8号議案 理事会からの報告事項について

第9号議案 その他

【評議員選任・解任委員会の開催】

以下のとおり開催し決議又は承認・了承した。

(1) 令和6年1月23日

第1号議案 評議員の選任について

2 地域福祉事業(善隣館事業)

【介護拠点】

<わくわくタイム>

令和5年4月 臨床美術: 藤の花を描く(馬場公民館)

6月 心和む小さなフラワーアレンジメント(馬場公民館)

9月 つまみ細工(馬場公民館)

10月 臨床美術: 幸せを呼ぶフクロウ(馬場公民館: 介護の日の活動事業)

12月 手作りしめ飾り(馬場公民館)

令和6年2月 ひょうたんストラップ作り

<地域福祉意識醸成事業>

令和5年10月 地域の高齢者と馬場小学校4年生とで地域福祉意識醸成に取り組む

【保育拠点】

<地域ふれあい事業>

令和5年11月 地域の高齢者と子供との交流 於; 馬場公民館)

【臨床美術作品展】

- 令和5年 7月 北國銀行金沢城北支店でのロビー展
わくわくタイムでの作品、こども園での子どもの作品展示
- 令和5年 12月 北國銀行金沢城北支店でのロビー展
わくわくタイムでの作品こども園での子どもの作品展示

【地域の高齢者の元気を応援する活動】

- 令和6年 2月 感染症対策への衛生グッズの配布

【地域へのボランティア活動】

- 令和5年 10月 馬場公民館文化祭のボランティア

【金沢市善隣館協議会】

<代表者会議：米澤理事長>

- 令和5年 7月 善隣館代表者会議（KKR ホテル金沢）

<幹事会：志賀浦理事>

- 令和5年 6月 金沢市善隣館協議会幹事会（第一善隣館）
8月 金沢市善隣館協議会幹事会（第三善隣館）
令和6年 1月 金沢市善隣館協議会幹事会（リモート会議）

<金沢市・福祉まつり：志賀浦理事>

- 令和5年 9月 金沢市福祉まつりに参加（松ヶ枝福祉館・松ヶ枝緑地）

以上

令和5年度事業報告

幼保連携型認定こども園 ひがしやまこども園

<こども園の運営と活動>

1、児童数（12か月の延べ人数）

- ・ 0歳児＝ 85人 1歳児＝119人 2歳児＝121人 3歳未満児計＝325人
- ・ 3歳児＝192人 4歳児＝108人 5歳児＝181人 3歳以上児計＝481人

2、行事の運営

- ・ 別紙年間行事予定表のとおり、新型コロナウイルス感染症予防に対応した形で実施した。
- ・ 1年に1回のお茶会・お招き会など、善隣館活動として地域の高齢者を招待するものは中止した。
- ・ 招待の代わりに、地域サロンの活動日に公民館へ出向き、11月と2月にプレゼントを配布した。
（メッセージカード・小物入れ・ティッシュペーパー）
- ・ 保護者が参加する行事は人数を限定して実施した。未満児クラスは原則保護者参加の行事は行わなかった。
- ・ 個人懇談は2歳児クラス以上で実施した。
- ・ 保護者への開示・可視化について配慮し、園の様子や行事について、ホームページからInstagramにアップした動画を見てもらうように配信した。（期間限定にし、パスワード付で保護者以外は閲覧できない処理済）

3、特別事業の実施

- ・ 統合保育事業・延長保育事業・年末保育の特別保育のほか、一時預かり保育事業の実施した。
- ・ 令和6年1月の能登半島地震により被災した家族の未就園児を特別措置としての一時預かり事業を実施した。

4、他の機関との連携

- ・ 小学校・児童館・児童クラブ・地域サロンなど人同士の交流はできなかったが、情報交換等は従来通り行った。
保健所・教育プラザ等との交流、訪問、会議、などはこれまで通りに行った。
- ・ 金沢市の事業である東京大学大学院発達保育実践政策学の基礎研究に参加した（令和2年度から）。

5、学生の受け入れ

- ・ 金沢学院大学短大の学生1名の実習を受け入れた。
- ・ 桜丘高校のインターンシップを8月に実施した。
- ・ 県立看護専門学校、県立看護大学の学生、計9名の学生を受け入れた。
- ・ 歯科医療専門学校15名の学生の実習を受け入れ、歯磨き・虫歯予防に関する指導実習を行った。

6、研修会への参加

- ① 県・市の開催する研修、全保協・日保協・私立保育園連盟の研修、医師会との研修など
新任研修から所長研修、分野別研修（発達・保健、防災、メンタルヘルス、組織運営など）に全職員を派遣した。
オンラインでの研修のほか、AED等実技実習等、集合参加型の研修にも参加した。
- ② 国で定められた必須のキャリアアップ研修へ参加した。
- ③ 嘱託医の森田医院山下先生を講師としてアレルギー児童に対する対応や処置方法、アレルギー全般を学んだ。

7、職員の異動

- ・ 令和5年5月31日付け1名の職員が退職（小坂美砂子）
- ・ 令和6年2月29日付け1名の職員が退職（米谷優）
- ・ 令和6年3月31日付け3名が退職（園長・志賀浦由紀子、保育教諭・毛籐香、調理師・善名育美）

以上

1 業績報告

<概要>

令和5年度の業績は、対前年度比で5%増であった。介護報酬の増加に加え、自費サービスの値上げによる増収が主な要因と考えられる。しかしながら、コロナ・インフルエンザの同時流行により、入院やサービス利用中止の利用者が、前年よりも多くなったため、業績目標の「前年度比10%増」を達成することはできなかった。もう一つの目標である「要介護利用者月平均28人」についても、平均27.5人という結果で達成とはならなかったが、こちらも同様の理由によるものである。

そのような中、令和6年1月には、「令和6年能登半島地震」が発生した。金沢へ避難してきている高齢者を始めとして、急激に利用者人数が増えた。しかし、1月・2月は冬場でもあるため、被災者を含め入院人数が増加し、継続的な利用には至らなかった。このように日々利用者が増減する中でも、年間業績の増加基調を維持できたことは大きな成果である。

令和6年度は、要介護利用者数の増加に向け、「サービス提供責任者」を2人体制から3人体制とし、利用者登録数を増やすことで、新規をできるだけ断らず、さらなる増収に努めたい。要支援利用者の人数は減少していないため、維持できるよう、次年度に向けて引き続き頑張っていきたい。

<事業報告>

以下の事業報告（表形式）を参照ください。

新型コロナウイルスは5類に移行したが、前述のとおり、コロナ・インフルエンザの同時流行により、行動が制限される等の苦労が多い部分も多くあった。利用者の入院や職員・職員家族の感染もあり、通常業務が難しいこともあった。

研修は、前年度同様、リモート研修や、ハイブリット研修として行われ、常勤職員を中心に参加できた。

令和6年度は集合形式の研修も増えてくると思われるため、常勤、非常勤共に令和5年度以上に参加できるよう、勤務形態を工夫したい。

計画内容	実績	備考
1 業績・サービスの向上 ①利用者数の増加 ＊新規利用者（要介護者）の増加 ・特定事業所加算の対象となる『要介護者』の利用者数の増加を目指す（月28人を維持することが目標）。	要介護者の利用者数、月平均28人を達成できなかった。来年度、目標達成を図る。	未達成 継続
＊ケアマネジャーへの営業活動 ・管理者（サービス提供責任者）が、毎月の実績やモニタリングを各ケアマネジャーに直接届け、利用希望者の紹介依頼をする。→チラシの配布等 ・当事業所を利用していない居宅介護支援事業所に対しても同様に実施する。	新型コロナウイルスの影響により、居宅支援事業所への訪問ができない状況が続いている。来年度は、規制が緩和された事業所から順次訪問を開始する。	未達成 継続
＊自費サービスの拡大 ・介護報酬の引き上げが見込めないことから、介護報酬に頼らない自費サービスを増やす。介護保険適用外の自費サービス提供で地域貢献に努め、合わせて全体的な増益を図る。→自費サービスのチラシ作成配布。	上記、ケアマネジャーへの営業活動同様、自費サービス提供の営業活動を行うことができなかった。来年度は、新型コロナ等の感染状況もみながら順次訪問を開始する。さらに、令和6年度は通院等乗降介助のガソリン	未達成 継続

	代値上げを実施したい。	
②自立支援 *訪問介護計画書の内容を担当ヘルパーに周知することで、利用者の「目標」を明確にし、利用者へのより良いサービス提供と自立支援に努める。	利用者の「目標」の周知は浸透してきた。令和6年度は、引き続き、計画書から見えてくる課題を抽出し、モニタリングに活かすことに取り組んでいきたい。	達成 継続
*サービス提供責任者が月1回程度利用者を訪問することで、利用者の近況を確認するとともに満足度を確認する。	感染症（コロナ・インフルエンザ）の同時流行で、サービス提供責任者の自宅訪問が難しく、すべての利用者の自宅を訪問できなかった。	未達成 継続
*年間計画に基づき、利用者別会議を開催しヘルパー間で利用者の特性や各種情報を共有していくことでチームアプローチによる均一な援助体系を確立し、利用者の自立支援につなげる。	令和5年度も、前年度に引き続き、利用者別会議を開催するだけでなく、開催時、ヒヤリハットに繋がる事象についても話し合えた。しかしながら、ヒヤリハット等の件数が増えてしまったことに関しては、6年度への課題といえる。	達成 継続
③アンケート調査を実施し、その結果を経営改善プロセスに反映し提供サービスの質の向上につなげる。	令和5年度は実施できなかった。令和6年度は担当や実施時期を明確化し、実行したい。	未達成 継続
2人材の育成と職員研修 ①内部・外部の研修会への参加を積極的に促し、職員の資質及び技術の向上を図る。外部研修に関しては参加者が報告書を作成し他の職員に周知する。 ②職員全員分の研修計画を作成し、計画に沿って円滑に研修が行えるように毎月の勤務を組み立てる。	内部研修はヘルパー会議の日程と合わせることで、全員参加に近づけることができた。外部研修は依然として、ほとんどの研修がZoomによるリモート開催となったが参加はできた。	達成 継続
3二事業所連携への取り組み ①一年間の研修の一部分を二事業所合同で行い、介護保険サービスの質の向上に努める。 ②善隣館事業である「わくわくタイム」を二事業所合同で行い、地域福祉に貢献する事業所を目指す。	5, 7, 9, 10, 2月に合同研修を行った。 4, 6, 8, 10, 12, 2月に実施し、地域福祉に貢献できた。	達成 継続 達成 継続

令和5年度 利用者別会議開催報告

ヘルパーステーションひがしやま

月	会議予定日	予定利用者名	該当ヘルパー	進行	実施日	実施利用者名	進行
4月	17日	Y.M様	木村・宮田	木村	17日	T.H様 M.S様	木村
5月	15日	H.H様	木村・宮田	宮田	15日	M.S様 M.K様 T.O様	木村
6月	19日	E.F様 S.F様	木村他4名	木村	19日	K.K様 H.S様 K.K様	木村
7月	10日	N.U様	青山他2名	青山	10日	S.F様 K.K様 T.K様	宮田
8月	21日	S.K様	木村・青山他1名	木村	21日	S.F様 K.K様 M.S様	木村
9月	11日	K.K様	木村他2名	木村	25日	M.Y様 S.F様 S.K様 Y.Y様 S.Y様	木村 宮田
10月	16日	S.K様	宮田他4名	宮田	16日	S.F様 K.K様 S.K様	木村 宮田
11月	20日	Y.N様	木村他3名	木村	13日	S.F様 Y.Y様	木村

月						S.K様	宮田
12月	18日	K.M様	宮田他3名	宮田	18日	S.F様 M.S様 C.K様 M.Y様 K.K様 S.K様	木村 宮田
1月	15日	T.A様	木村・青山他1名	青山	15日	新規M.H様 N.Y様 他新規の方5名	木村 宮田
2月	19日	R.O様	木村・宮田他1名	木村	19日	I.K様 M.S様 Y.I様	木村 宮田
3月	18日	I.Y様	宮田他2名	宮田	18日	S.Y様	木村

* 利用者別会議はヘルパー会議開催時に同時開催の為、該当ヘルパーはもちろん、ヘルパー全員参加で行った。

令和5年度 事業所内研修報告

ヘルパーステーションひがしやま

月	予定日	研修テーマ	研修内容	説明者	実施日	研修内容	説明者
4月	17日	令和4年度事業報告と令和5年度事業計画について	テーマの周知	施設長	17日	令和4年度事業報告と令和5年度事業計画の周知	施設長
5月	15日	緊急時の対応に関する研修	BCPについて	小島	15日	BCPについて「発動基準」	小島
6月	19日	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	平田	19日	5類移行後の新型コロナに罹患した介護従事者の就業制限解除の考え方について 食中毒予防の原則	平田
7月	10日	ヘルパーの接遇に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	宮田	10日	BCPについて「新型コロナに関するBCPのQ&A」	小島
8月	21日	緊急時の対応に関する研修	BCP 応用編	小島	21日	～接遇研修～ 介護現場で求められる接遇マナーの基本5原則	宮田
9月	11日	利用者の対応や従業員に対する認知症に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	小島	25日	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について	小島
10月	16日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	尾山	16日	「プライバシー保護にあたる事例と基本的な考え方」	尾山
11月	20日	倫理及び法令遵守に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	施設長	13日	倫理及び法令遵守に関する研修	施設長
12月	18日	事故発生又は再発	マニュアル使用	平田	18日	おはよう21・転倒・	平田

		防止に関する研修	による研修(仮)			転落の際の対応参照 高齢者の事故件数の 推移	
1月	15日	介護サービスの質 の確保	マニュアル使用 による研修(仮)	宮田	15日	災害後に起こる心 の変化と、ケアの 方法について	宮田
2月	19日	感染症及び食中毒の 予防及びまん延の防 止に関する研修	マニュアル使用 による研修(仮)	尾山	19日	避難所における 感染症	尾山
3月	18日	認知症及び認知症 ケアに関する研修	マニュアル使用 による研修(仮)	木村	18日	認知症について	木村

令和5年度 対策検討委員会開催報告

開催日	開催様式	内容	参加者
R5.6.19 17:30~	常勤会議内合同研 修	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防 止に関する研修 ～コロナ5類移行について～ ～食中毒について～	志賀浦事務局長 平田事務長 小島, 尾山, 木村 青山, 宮田
R5.10.16 17:30~	常勤会議内合同研 修	利用者のプライバシー保護の取組み に関する研修(虐待防止に関する研修)	志賀浦事務局長 平田事務長 小島, 尾山, 木村 青山, 宮田
R5.2.19 17:30~	常勤会議内合同研 修	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防 止に関する研修 ～避難所における感染対策マニュアル～ (令和6年能登半島地震を受けて) ～「新型コロナウイルス関連情報」～	志賀浦事務局長 平田事務長 小島, 尾山, 木村 青山, 宮田
R6.3.18 17:30~	常勤会議内合同研 修	「訪問先(利用者宅)におけるカスタマ ーハラスメントへの対応」 R6.2.26 ヘルパーステーション・木村が 受けた研修の復命研修として実施	志賀浦事務局長 平田事務長 小島, 尾山, 木村 青山, 宮田

*R6.2.26に高齢者虐待防止の研修があり、居宅・ヘルパーステーション共に、申し込みを済ませていたが、「令和6年能登半島地震」の発生により、中止となった。来年度、積極的に参加していきたい。

令和5年度 外部研修参加報告

ヘルパーステーションひがしやま

開催日	主催	開催場所	内容	参加者
R5. 6. 9 (金)	石川県ホームヘルパー協議会	事務所内 (Zoom によるオンライン研修)	石川県ホームヘルパー協議会総会及びスキルアップ研修会	平田和美 青山幸子 宮田麻佐美
R5. 9. 15 (金)	石川県ホームヘルパー協議会	石川県地場産業振興センター 新館5階 第13研修室	「令和6年度介護報酬改定に向けた、訪問介護の対策」	平田和美
R5. 10. 4 (木)	石川県ホームヘルパー協議会	事務所内 (Zoom によるオンライン研修)	石川県ホームヘルパー協議会ブロック別研修会 「訪問介護におけるBCP作成の最重要ポイント」	平田和美 木村真由美
R6. 2. 26 (月)	金沢市介護サービス事業者連絡会	事務所内 (Zoom によるオンライン研修)	「訪問先(利用者宅)におけるカスタマーハラスメントへの対応」	木村真由美
R6. 3. 22 (月)	金沢市介護サービス事業者連絡会	事務所内 (Zoom によるオンライン研修)	「これからの介護保険～令和6年度改正と介護業界の将来展望」	宮田麻佐美

以上

令和5年度 事業報告

指定居宅介護支援事業所
 社会福祉法人 馬場福祉会
 東山居宅介護支援事業所
 石川県金沢市東山3丁目25-3
 グリーンコート東山102

業績報告

概要

利用者数について、計画人員100名に達していない。運営を適正に行うためには、要介護者のケアマネジメント件数を増やすようにする必要がある。なるべく、馬場地区の住民の方からの相談があった場合は、担当できるようにする。

1月1日の能登半島地震被災者が、金沢市内で介護サービスを利用して生活をするために、新規受持ち依頼があった。地域包括からの依頼もあり、要支援、要介護に限らず受け持つことにした。現在、珠洲市、輪島市の方を担当している。ヘルパーステーションひがしやまをはじめ他事業所と連携をとり、利用者本人が望む暮らしに近づくことができるように支援をしていく。一方、状態像の変化により、施設入所を家族が希望する相談がある。今後もそのような相談はありと考へ、利用者本人と家族に寄り添い、何よりも利用者の利益となるよう施設選定等に関わっていく。

事業報告

計画内容	実績	評価
1 定員について		
利用者（1か月あたり） 計画人員100名（介護給付・予防給付含）	月平均 介護57名 予防31名 合計88名（88%達成） *職員2名体制では、介護39名ずつ担当できる。予防について、受持ち人数の算定計算は、予防支援は、1/2換算。予防ケアマネジメントは、0人と算定される。しかし、ケアマネジメントは一人ひとりに向き合う必要であり、算定されないからといって、担当件数を増やすことは行わないこととする。	未達成 継続
職員 施設長 1名（常勤兼務） 管理者 1名（介護支援専門員兼務） 介護支援専門員 2名以上（常勤兼務1名、常勤もしくは	変更なし 主任介護支援専門員2名	達成 継続

は非常勤専任 1 名以上)		
2 運営計画について		
① 介護支援専門員は、利用者の居宅を訪問し、利用者及びその家族への面接を行い、意見や要望を聴取するとともに、支援する上で解決しなければならない課題の把握や分析を行い、利用者や家族の理解、同意に基づく居宅介護計画を作成する。この計画に基づき、当該地域の指定居宅サービス事業者に対し計画内容等の情報を提供し、利用者の居宅サービスの選択を求め、同意を得た上で、サービス事業を実施する。	そのように行った。 利用者動向（年間） ・新規 介護 21 名 支援 4 名 （要支援から要介護認定に変更になった人も含む） ・終了 介護 26 名 支援 10 名 （要支援から要介護認定に変更になった人も含む）	達成 継続
② 利用者が小規模多機能居宅介護利用や、介護保険施設への入所を希望した場合は、小規模多機能居宅介護利用や、介護保険施設への紹介、その他便宜を提供する。	そのように行った。 （施設入所者 年間 10 名）	達成 継続
③ 課題分析について使用する分析票は、主として居宅サービス計画ガイドライン方式とする。	そのように行った。	達成 継続
④ 介護支援専門員は、居宅サービス計画の作成後においても利用者及びその家族、居宅サービス事業者等との連絡を継続的に行い、居宅サービス計画の実施状況を把握する。また、利用者や家族へは、月 1 回以上（状況の変化が著しい場合は適宜）の訪問を実施しその要望把握を行い、居宅サービスの変更やサービス事業者との連絡調整その他の便宜の提供を行う。	そのように行った。	達成 継続
⑤ 介護支援専門員は、利用者一人ひとりについて、主治医や関係機関との連携を密にし、継続的フォローアップを行う。	そのように行った。 入院時情報提供年間 24 件 居宅療養管理指導（医師、薬局）年間 62 件	達成 継続
⑥ 介護支援専門員は、その家族に対しサービス提供に関しての疑義が生じることのないよう十分な説明を行うとともに、適宜の相談に対応する。	そのように行った。	達成 継続
⑦ 金沢市などの委託を受け認定調査を実施し提出書類の作成を行う（月 3 件程度）。	年間 52 件（市外からの調査依頼も受けた）	達成 継続
⑧ 独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校 3 年生在宅看護論・臨地実習受け入れを行う、5 グループ 2 名ずつ 10 名受け入れ予定である。	予定通り受け入れた。	達成 継続
⑨ 金沢医科大学看護学部学生 2 名ずつ 2 グループ受け入れ予定である。	予定通り受け入れた。	達成 継続
	計画になかったが、依頼	

	があり 金沢大学看護学専攻オンライン在宅看護実習を84名に対し行った。	
⑩ 主任ケアマネジャーとして、研鑽を積み研修に参加する。地域包括と連携をとり、地域ケア会議等開催に協力する。	事例検討会、研修に参加をした。	達成 継続
⑪ 善隣館事業わくわくタイム等の運営に協力し、ホームページの運営を通じて健康長寿に関わる情報を発信する。	年間計画通りに事業に協力した。ホームページの活用は更新がされていない。	未達成 継続
3 業務日及び時間について		
① 業務日 月曜日から土曜日。ただし、祝日及び12月31日から1月3日までを除く。 ② 業務時間 午前8時30分～午後5時15分 (担当職員が不在の場合はヘルパーステーション職員及び事務職員が対応する。時間外において電話対応を行う。)	計画通り行われた。	達成 継続
4 業務の適正化について		
① 会議 常勤会議：月1回(ヘルパー部門と合同) 事業所内会議：月1回以上 各検討委員会：年2回以上	常勤会議は計画通り行われた。 事業所内会議は、低域開催できなかった。 各検討委員会は、2事業所合同で開催だが年間2回を達成できなかった。 日程担当者を決めて行う。	未達成 継続
② 研修 「年間施設内研修計画」を策定し職場内研修を実施するとともに、各種研修会への派遣等積極的取り組みを推進する。	事業所運営上必要な研修はヘルパーステーションと合同で開催した。各種研修会は参加した。	達成 継続
③ 職員の健康管理 併設ヘルパー部門に準じ、年1回、健康診断を受診する。	計画通り行われた。	達成 継続

以上